

解答

一

問1 お母さんが使っていたコップが今も台所にあるなど、お母さんがこの家で生きていたことを表す、今も残っているもの。

問2 おばあちゃんは、幼い時から大事な家族に先立たれていて、心に深い悲しみがあるため、体は元気だが、自分が元気だと思ったことがなかったから。

問3 お母さんの写真を見るのに、お母さんと自分の二人だけの世界に誰も入れたくなく、又、死んだお母さんに対し、おそれつつしみ、きちんとしたかったから。

問4 写真の中の、生きていた頃のふだんのお母さんを見たことで、お母さんが恋しくなり、かえってもう二度と会えない悲しみを感じたから。

問5 お母さんは死んでしまつて二度と会えないが、思い出の中では、お母さんと自分は一緒に、その記憶をこれからもずっと大切にしていきたいという気持ち。

問6 圭は表面的には変わりなく生活していたが、お母さんをなくした悲しみは、自分と同じように深いことがわかり、家族としていとおしく感じたから。

問7 次も今と同じ幸せがくることが分かっている物語を読むことで、お母さんの突然の死により幸せな日常が断たれたショックに耐えている状況。

問8 鈴の知らないお母さんの生きた時間や思いを受け入れることは、お母さんの死んでいく悲しみに触れるようで不安な気持ち。

問9 暗い部屋でお母さんの死んでいく悲しみや無念さを感じたことによる、お母さんとの別れに対する自分でもコントロールできない程の悲しみ。

問10 圭は現実とは違う生活の中で変わらぬ日常生活を送っていて、圭とはお母さんの死んだ悲しみは共有できず、家族なのに遠い存在に感じている。

問11 お母さんが死んだ悲しみが薄らぎ、お母さんは死んでしまったけれど、思いの中では、自分とつながっていて、お母さんに守られているという落ち着いた気持ち。

二

① 腹心 ② 絶「つ」 ③ 巻末 ④ 磁石 ⑤ 徒労

⑥ 改修 ⑦ 尊大 ⑧ 劇薬 ⑨ 博「す」 ⑩ 検討

⑪ 要領 ⑫ 全盛 ⑬ 米俵 ⑭ 誤植 ⑮ 古今

⑯ うわせい ⑰ やしろ ⑱ さんみ ⑲ こうみよう ⑳ だんぱん